

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2023/07/04

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	35.04	-0.25
JPY/THB	0.2422	-0.0023
USD/JPY	144.68	0.37
EUR/THB	38.23	-0.26
EUR/USD	1.0912	0.0003
USD/CNH	7.253	-0.015
SGD/THB	25.94	-0.15
AUD/THB	23.38	-0.13
USD/INR	81.96	-0.08
USD Index	102.99	0.08

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	2.320	-0.005
10Y (THB)	2.565	-0.015
5Y (USD)	4.187	0.032
10Y (USD)	3.855	0.018

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	1,929.5	0.1
WTI (Oil)	69.79	-0.85
Copper	8,398.0	82.5

Stock

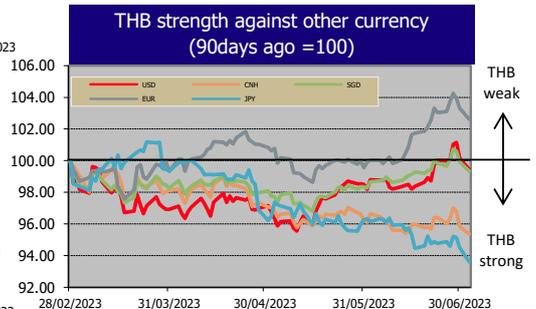
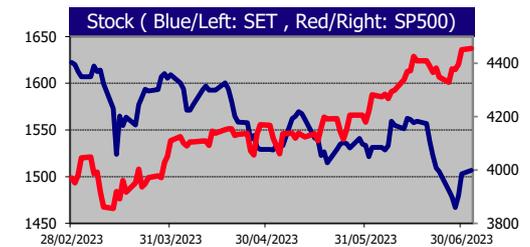
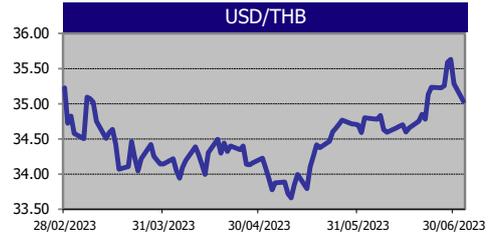
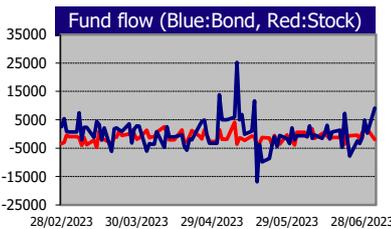
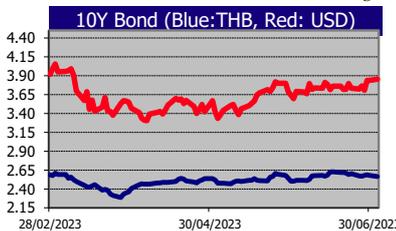
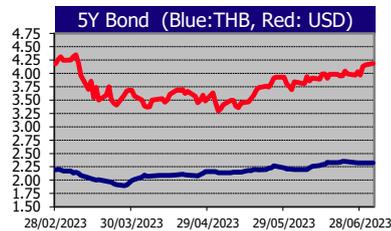
	Close	CHANGE
SET (TH)	1,506.84	3.74
NIKKEI (JP)	33,753.33	564.29
DOW (US)	34,418.47	10.87
S&P500 (US)	4,455.59	5.21
SHCOMP (CN)	3,243.98	41.91
DAX(GER)	16,081.04	-66.86

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	(1,949)	-3656.8
Bond net flow	9,101	8814.5

*compared with previous day

(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

・昨日のドルパーツは下落。35パーツ台半ば付近でスタートしたドルパーツは、先週末海外時間の流れを引き継ぐ格好で序盤から上値重く推移。早々に35パーツ台前半まで下落した後、しばらく水準での推移が続いた。海外時間に入り、交渉の難航が伝えられていたタイ下院議長のポストについて、「ブラチャーチャート党」の党首が就くことで合意したとのヘッドラインに国内政治の先行き不透明感が一部和らいだことからドルパーツは一時34パーツ台後半まで下落。ただ、翌日米国休日も控える中、終盤にかけては徐々に値を戻し、結局35.04レベルでクローズを迎えた。

●ドル円その他

・昨日のドル円は上昇。144円半ば付近で取引を開始。日銀短観が公表され、大企業・製造業の業況判断DIが2022年12月調査以来の水準となる等、全般的に良好な結果となり、日経平均株価が堅調な推移を見せる中、ドル円も上昇基調で推移。海外時間入りにかけて144円台後半まで上昇した。海外時間、米6月ISM製造業景況指数が市場予想を下回り、同時に発表された6月ISM支払価格も悪化していることが判明し、ドル円は急落。一時144円ちょうど付近を付けた。ただ、終盤にかけて米金利が反転上昇する動きにドル円も値を戻し、144.68レベルで引けた。

Bangkok Dealer's Eye

昨日(3日)、タイにおいて下院総選挙後初となる国会が開幕した。注目された下院議長のポストについては野党の分裂を回避すべく「前進党」、「タイ貢献党」両党以外から選出することで合意し、「ブラチャーチャート党」党首を候補とすることで合意したと伝えられた。新政権樹立に向けた課題の一つは解消することとはなったが、最大の懸念事項である首相選出に向けた先行き不透明感が解消されたわけではない。支持集めに苦戦しているとされる「前進党」ピター党首の動きには引き続き注目が集まろう。

また、タイ国外に目を向けると、米国は本日祝日となっているが、バンコク時間6日早朝にはドットチャートにて2回の追加利上げの可能性を示した前回FOMC(6月14-15日開催分)の議事要旨が公表され、7日には米6月雇用統計の発表が控える。米国については本日の休暇明け以降、本格的に7月の取引始動といったところであり、タイ国内要因、国外要因ともに引き続きヘッドラインリスクに留意すべき状況であることは変わらない。足もと、ドルパーツのチャート上では35パーツちょうど付近に位置している日足の200日移動平均線を巡る神経質な展開が続くそうだ。(末廣)